

# 0.2%利下げ決定



電子速報版

2008年10月31日(金)発行

発行所

山形新聞社

山形市旅籠町二丁目五番

電話 代表023(622)5271

Copyright (c) 2008  
Yamagata Shimbun

山形新聞ホームページ

web <http://yamagata-np.jp>

携帯 <http://yamagata-np.jp/k/>

購読申し込み(9~17時)

0120-81-8040

詳しくは山形新聞を  
ご覧ください。

## 日銀、7年半ぶり

## 円高、景気悪化に対応

日銀は三十一日、金融政策決定会合を開き、政策金利である無担保コール翌日物金利の誘導目標を現行の年0.5%程度から0.2%引き下げ0.3%程度にすることを決めた。即日実施で、量的金融緩和と政策導入に伴って金利をゼロに誘導した二〇〇一年三月以来、約七年半ぶりの利下げとなる。

世界的な金融危機による急速な円高や株安で市場が不安定さを増したことに加え、景気の悪化懸念が一段と強まったと判断した。欧米の中央銀行

が相次いで利下げに踏み切っているほか、日本政府も追加経済対策を発表。日銀も危機克服に向けて歩調を合わせた。

日銀の利下げで、変動型を中心に住宅ローン金利の低下が予想されることに加え、資金繰りに苦しむ中小企業などの借り入れがやや改善することが見込まれる。一方、普通預金などの預金金利は引き下げられる。

日本経済は、景気のけん引役だった輸出産業が世界経済の減速で打撃を受けたほか、設備投資にも陰りが出ている。個人消費も食料品の値上がりなどによる節約志向の高まりから低迷しており、後退局面に入っている。

市場では、世界経済の回復は早くても来年後半以降で、日本も〇八年度は実質ゼロ成長にまで落ち込むとの見方が多い。

日銀は〇七年二月に0.25%利上げして以降、政策金利の据え置きを続けてきた。



金融政策決定会合に臨む日銀の白川総裁(中央)ら = 31日午前、日銀本店